

# デザイン力と地域振興

冠講座教授 川口宗敏

本講演では、地域資源を活用し、川口のデザインによって、地域振興を図ったプロジェクトについて紹介・説明いたします。

今回の講演では、地域資源として、静岡県に関係の深い富士山 (Mt. Fuji)、道 (Road)、木 (Wood)、茶 (Tea) の四視点を取上げました。

## 1. 富士山 (Mt. Fuji) :

事例 1-1. 富士川駅前公園・・・富士山への眺望、地場産の松野石

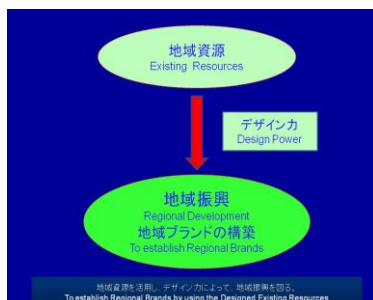
事例 1-2. 旧富士川町御製歌碑公園・・・富士山への眺望、昭和天皇の歌碑、日時計

事例 1-3. 蒲原竹久夢二歌碑モニュメント・・・富士山への眺望、竹久夢二の歌碑、  
プリズムの七色、日時計

事例 1-4. 清水銀座パル通りモニュメント「三方子」・・・富士山・海・商店街への三方向

事例 1-5. 浜松モザイクカルチャー世界博 2009 静岡県作品「紅雲の雪景富士」

・・・富士山、積雪、紅雲



デザイン力による地域振興



事例 1-1



事例 1-2



事例 1-3



事例 1-4



事例 1-5

## 2. 道 (Road) :

事例 2-1. 静岡市七ぶらシネマ通り・・・映画館街、路上映画ギャラリー、映画文化

事例 2-2. 静岡市エスパルス通りサッカー・モニュメント「勢生」・・・サッカー

事例 2-3. 静岡市呉服町通り・・・東海道五十三次、歴史と現代

事例 2-4. 浜松市アクト通り・・・シンボル道路、イベント空間



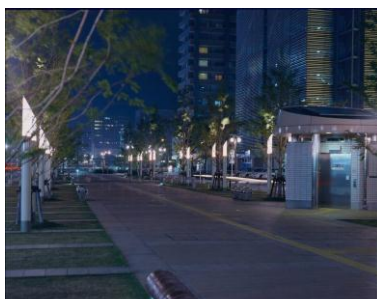
事例 2-1



事例 2-2



事例 2-3



事例 2-4



事例 3-1



事例 3-2

## 3. 木 (Wood) :

事例 3-1. 静岡市立清水飯田北保育園・・・木造ならではの空間構成と色彩

事例 3-2. 高台の家・・・木造ならではの伝統的な現代美

事例 3-3. みかんの家・・・木・石・金属からなる対比と調和

事例 3-4. 天竜蔵シック草庵茶席 2004「四立方体木庵茶席」・・・立方体による単純造形

事例 3-5. 天竜蔵シック草庵茶席 2006「花道茶席」・・・茶席、舞台



事例 3-1



事例 3-2



事例 3-3



事例 4-1



事例 4-2



事例 4-3



#### 4. 茶 (Tea) :

事例 4-1. 料亭 待月楼・・・現代数寄屋、月の造形

事例 4-2. 草庵茶席「円層」・・・禅的空間、インスタレーション

事例 4-3. 移動式茶室・・・単純型、組立、移動

事例 4-4. 草庵茶席「遊空」・・・遊び心、透過と反射、インスタレーション

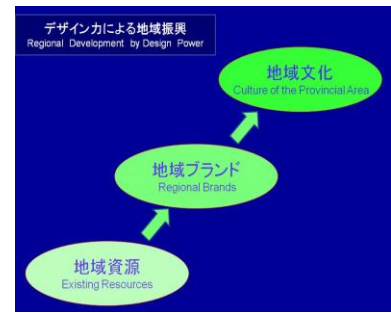
事例 4-5. 玉露の里・瓢月亭・・・瓢箪と月の造形、伝統と創造



事例 4-4



事例 4-5



地域ブランドから地域文化へ

#### 結論 :

デザイン力による地域振興は、地域資源を活用し、地域ブランドと呼ばれるまでに昇華し、その結果として地域文化の一構成要素となることができれば、理想的である。

#### 略歴

川口 宗敏 (かわぐち むねとし)

静岡文化芸術大学大学院教授 (都市デザイン・環境デザイン・建築デザイン)

1948 年、静岡市生まれ。ハーバード大学大学院都市デザイン学科修了。パオロ・ソレリ・コサンチ・ファンデーション・アーキテクト (U. S. A)、丹下健三都市・建築設計研究所・主任建築家、

川口建築都市設計事務所 (現デザイン アープ) 専務取締役、東海大学学部・大学院教授を経て、現在、静岡文化芸術大学大学院教授・デザイン研究科長。工学博士。

ユネスコ世界青年建築家国際設計コンクール グランプリ受賞、U I A (国際建築家連合) 主催国際学生設計競技ブルガリア大会入賞、日本建築士会連合会建築設計競技金賞、静岡県文化奨励賞など都市・建築デザインに関連したデザイン賞を多数受賞。

著書に『設計論』(鹿島出版会)、『待月楼と瓢月亭』(静岡新聞社出版局)、『川口の空間美』(静岡新聞社出版局) などがある。

現在、国土交通省中部地方整備局景観アドバイザー、静岡県景観賞審査委員、浜松市都市計画審議会会長、静岡市交通政策協議会会長などの公職を兼任。